

Data(2014 年 10 月現在)

所在地: 〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110
スタッフ: 相原正男(教授), 山崎洋子(教授), 神崎由紀(助教), 武井勇介(助手)
URL <http://www.yamanashi.ac.jp/>



山梨大学医学部看護学科

健康・生活支援看護学講座地域看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、1995(平成7)年4月に山梨医科大学医学部看護学科地域・老人看護学講座地域看護学領域として発足しました。2002(平成14)年10月に山梨大学と山梨医科大学が統合されたことで、山梨大学医学部看護学科となりました。現在、地域看護学領域の教員は、山梨大学大学院総合研究部医学域看護学系(2014[平成26]年10月1日改組)健康・生活支援看護学講座に所属し、学部と大学院の地域看護学の教育を担当しています。

Education

どのような教育をしていますか？

本学の保健師基礎教育では、1学年定員70名(うち編入学生10名)全員が保健師国家試験受験資格を取得できるカリキュラムとなっています。行政や学校、産業保健での実習のほか、附属病院や地域の医療機関・自治体と連携した防災トリアージ訓練の体験を通して、実践的な健康危機管理や多職種連携ができる看護専門職の育成をめざしています。さらに、医学科との合同授業を行い、将来、チームで協働していく職種として相互の理解を深めています。

Research

どのような研究をしていますか？

地域に暮らす人々の健康づくりや地域組織活動への支援について研究しています。また、障害をもつ子どもの発達の課題の理解やその支援、精神障害者の地域生活への支援や家族への支援のあり方についても追究しています。

地域での看護活動は、予防的な視点が重要だと考えますが、支援の成果を評価することは非常に難しいと思います。保健師の支援が住民の健康や安心した生活につながることを信じて、気長に研究に取り組んでいきたいと思っています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

自治体保健師(有志)と共同して定期的な学習会を実施しているほか、山梨県内の保健師現任教育の企画や運営に協力しています。また、附属病院の医療連携部門で、通院患者や家族への相談対応や事例検討会へ定期的に参加し、現場の実情を学ばせていただきながら、特定機能病院退院患者が地域の社会資源を有効に活用するための支援を担当者とともに考えています。さらに、市町村保健師や附属病院外来看護師が取り組む看護実践研究を支援しています。

ひとこと

山梨県内には、過疎化や高齢化が進む中山間地域がたくさんあります。そのため、学生の実習や研究の場面では、県民の保健師に対する期待が大きいのをひしひしと感じます。住民のニーズに応えるため、また保健師がイキイキと活躍し続けるためにも、私たちと一緒に学習や研究に取り組んでみませんか。……山崎

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募方法 ●電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp